

明けましておめでとろございます



八代市長 中島隆利

輝かしい初春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は、「三位一体改革」の初年度の年となり、国においては地方交付税の大幅削減、国庫補助負担金の廃止に伴う税源移譲が進められております。
まさに地方自治体には、行財政改革の積極的な取り組みと効率的かつ自主的な運営が求められており、行政も最大限の努力と新たな発想によって、この変革に対応していかなければならないと強く感じているところであります。

さて、昨年は九州新幹線（新八代・鹿児島中央間）が開通し、高速交通網の整備がなされましたが、今年には「南九州西回り自動車道日奈久芦北道路」の日奈久IC・田浦IC間が開通となることで、交通の要衝としての本市の果たす役割はますます重要となつてきます。市内においても、昨年暮れには萩原出町線が完成しましたし、出町公園や麦島線も今年完成します。併せて緑の回廊線（八代駅・一中間）の供用も開始となり、交通の利便性の向上とともに市民の憩いの場が増えることとなります。

また、本市では、八代地域における合併問題を始めとして、中心市街地活性化策や農業振興策等々の解決すべき重要案件が山積しております。

今後とも、県南の拠点都市として八代市第三次基本計画に基づき「すべてのひとが輝くまちやつしろ」という都市像をめざして、時代にふさわしいまちづくりを積極的に進めてまいりたいと考えますので、市民の皆様には、本年も市政に対しまして変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、新しい年が夢と希望に満ちあふれたものとなりますことを心よりお祈りしながら年頭のご挨拶といたします。

八代市議会議員 小園純一

新年あけましておめでとろございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、三月に九州新幹線新八代・鹿児島中央駅間が開業し、南九州地域と太いパイプで結ばれ、本市は九州中央部の交通の要衝として、その重要性がますます増大し、将来への期待が膨らみました。

しかし、一方では、何度となく大型台風襲来による被害や、中越地震を初めとする全国的な地震の発生など、布田川・日奈久断層帯を擁する本市における防災体制整備の重要性を痛感した年でもありました。

このような中で、本年は災害に負けない「安心・安全」なまちづくり、国の三位一体改革への対応、さらには、大型ショッピングセンター進出に伴う中心市街地の活性化対策などの課題が山積しており、市議会では、市民の皆様のご意見に耳を傾け、八代市百年の大計に立ち、地方分権時代の地域づくりについて、慎重に議論を重ねてまいりたいと考えております。

本年は酉年、「酉」には「収穫した穀物で新酒をつくる時期」「ひと所に収穫する、まとめる」との意味があり、市議会では、将来に禍根を残さぬよう「脚下照顧」、行政機関とも相協力し、地域の資産を活用した地域活性化により、本市が真に活力あふれる、魅力ある都市として羽ばたけるよう全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、よりよい年となりますようお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



脚下照顧（きゃっかしょうこ）

脚下照顧とは、禅宗のことばで「自分を見詰めよ。自分を見失うな」ということです。すなわち、八代の現状を見極め、判断を過たないよう慎重に議論を尽くし、議会としての責務を果たしていきたいと思っております。



温故知新（おんこちしん）

昨年は、九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道が開業しました。九州の中央に位置する八代、広域交流拠点都市として、「古きを温ね新しきを知る」八代の歴史と文化の魅力を全国に発信し、八代地域の活性化につなげましょう。

